

## 令和6年度当初予算（案）の骨子

### 『社会の変化や災害を乗り越え成長し、 明るい未来へまっすぐに進む予算』

新型コロナウイルス感染禍後の世界はますます混迷が深まり、国内の政治・経済の先行きは見通せず、国際競争力の低下も危惧される中、価値観や生活様式の多様化などの変化がかつてないスピードで進んでいます。

長岡市は、このような状況においても、社会の変化に柔軟に対応するとともに、災害を乗り越えながら、人材育成や産業振興に引き続き取り組んでまいります。

そして、こうした取組による地域社会や経済の成長を通じて、安全安心に暮らせる明るい未来を目指したまちづくりを進めてまいります。

『災害に強く誰一人取り残さない安全安心なまちづくり』では、今般の能登半島地震の経験を踏まえ、災害への備えを強化します。同時に、子どもの成長や子育てを社会全体で応援し、健康・医療・福祉を充実させるほか、地域の安全安心な暮らしの確保とコミュニティづくりの推進に取り組みます。

『「新しい米百俵」による人材育成と産業振興「長岡版イノベーション」の推進』では、新しい学びの場を整備し、未来を担う人材を育成します。また、新産業の創出や循環型社会に対応した取組を進めるほか、産業界の人材確保に取り組み、物価高騰対策など地域経済の下支えもしっかりと進めてまいります。

『長岡を元気にする活動の推進と魅力の発信』では、誰もが参加できて元気に活躍できる機会と環境の整備、歴史文化や観光資源を活かしたまちづくりを進めます。さらに、長岡の魅力を発信し、交流・定住人口の増加を図ります。

『効率的で持続可能な行政運営』については、行政サービスの質の向上を図りつつ、業務の効率化などに取り組み、持続可能な行政運営を進めます。

この基本姿勢に基づき、令和6年度当初予算（案）を『社会の変化や災害を乗り越え成長し、明るい未来へまっすぐに進む予算』としました。

## 予算の特徴

### ■ 予算規模

#### 一般会計

1, 339億8, 500万円 (前年度比3.1%増)

#### 総予算(特別会計・企業会計含む)

2, 198億3, 790万円 (前年度比1.0%増)

### ■ 経済対策で事業前倒し

国の補正予算に伴い、令和6年度の予定事業を補正予算で前倒して実施することで、切れ目のない経済対策を実施

一般会計 普通建設事業費

〈5年度 経済対策補正予算〉	〈6年度当初予算〉	〈総額〉
<b>10.5億円</b>	<b>159.7億円</b>	<b>170.2億円</b>

・道路整備や街路樹の植替えなど生活に密着したインフラの整備を前倒しで実施

### ■ 重点施策

- |     |   |         |
|-----|---|---------|
| I   | 災害に強く誰一人取り残さない安全安心なまちづくり                | 436.9億円 |
| II  | 「新しい米百俵」による人材育成と産業振興<br>「長岡版イノベーション」の推進 | 132.8億円 |
| III | 長岡を元気にする活動の推進と魅力の発信                     | 38.3億円  |
| IV  | 効率的で持続可能な行政運営                           | 4.7億円   |

## I 災害に強く誰一人取り残さない安全安心なまちづくり

中越大震災と7.13水害から20年の節目となる年に能登半島地震が発生したことを踏まえて、沿岸部の津波対策や原子力防災の推進、地域防災力の強化など災害への備えを進めます。

配慮を要する子どもと保護者、不登校児童生徒への相談・支援体制を整備するとともに、子ども食堂や民間の放課後児童クラブへの支援を拡充します。さらに、認定こども園などの保育環境を整備することで、子どもの成長と子育てを切れ目なく社会全体で応援する環境づくりを進めます。

健康づくりの推進と医療・福祉の充実として、全市民参加型の「ながおかウェルネス事業」で健康寿命の延伸に向けた取組を充実させます。また、介護事業所等のロボット見守り機器の導入支援を通じて、質の高い介護サービスを確保するほか、ひきこもり相談・支援体制を強化するなど、年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

支所地域で発生する小規模災害の応急修繕や、住民サービスや課題への対応を強化するため、支所長が独自の判断で機動的に使用できる予算を拡充します。さらに、集落支援員と地域おこし協力隊を増員して人口減少対策や地域課題への取組を強化するほか、鳥獣被害対策の拡充や、地域の生活道路の緊急対策工事を実施するなど、全市域のインフラの維持やコミュニティ活動への支援等を進めます。

## II 「新しい米百俵」による人材育成と産業振興 「長岡版イノベーション」の推進

「米百俵プレイス ミライエ長岡」西館を核として、中高生向けのミライエアントレプレナー塾や、4大学1高専の学生と若手経営者・起業家との交流会を実施するなど、若者の人材育成を進めるとともに、AIやデジタルアートなど進化する技術に対応したデジタル人材を育成します。さらに、中学校部活動の地域移行に向けた環境を整備するほか、小学校のスクール・サポート・スタッフを増員することで、教員が子どもと向き合う時間を一層確保します。

産業協創の拠点N a D e C B A S Eを中心にイノベーションの創発に取り組むほか、新築住宅のZ E H<sup>ゼッチ</sup>化や太陽光パネル・蓄電池の導入を支援します。また、持続可能な農業の実現に向け、枝豆の残さを家畜飼料に加工する実証実験を支援するなど、循環型社会に対応するための取組を進めます。

官民連携により企業のデジタル化を支援し、DX推進体制の整備を促進するほか、市内企業による留学生インターンシップへの支援を強化します。さらに、ながおかペイやポッキリパスポート、ECサイトによる切れ目のない消費喚起や、一般住宅リフォームの支援の拡充などによる物価高騰対策のほか、商工業や農業、建設業など地域のあらゆる産業と経済を下支えする取組を行ってまいります。

### Ⅲ 長岡を元気にする活動の推進と魅力の発信

あらゆる分野での女性の活躍を一層推進するため、ネットワークづくり交流会やセミナーを開催します。また、スポーツによるまちづくりを進めるため、eスポーツを通じた関係・交流人口の創出と体験機会の拡大に取り組むほか、新たに将来の地域スポーツイベントや障害者のスポーツ活動を支える指導者や運営スタッフなどの人材の育成・確保を図ります。

長岡の歴史文化を後世に継承し、観光資源を活かしたまちづくりを進めるため、旧互尊文庫に長岡戦災資料館を移転整備するほか、全国闘牛サミットの長岡大会を開催します。

長岡の魅力発信により交流・定住人口の増加を図るため、民間を含めた市内のイベント情報をA Iで自動収集して、タイムリーに発信する情報サイトを構築するほか、市内宿泊客への名産品プレゼントキャンペーンを実施します。さらに、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用して、長岡ファンの獲得に積極的に取り組みます。

### Ⅳ 効率的で持続可能な行政運営

社会経済情勢の変化に対応し、持続可能な行政運営を行うため、先端技術を取り入れながら行政サービスの質の向上を図りつつ、業務の効率化を進めます。